

【小中学校 総合的な学習の時間】

単元の指導計画における観点別評価の位置付け 〈例〉

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【知技①(概念的知識)】 ○○は、▲▲し、□□することで★★となっていくことを理解している。	【思判表①(課題の設定)】 ※単元の課題・個別の課題・新たな課題 ○○について、課題を設定し、解決に向けて自分にできることを考えている。	【主体態①(自分自身に関すること・主体性)】 活動を通して、自分と○○とのかかわりを見直そうとしている。
【知技②(概念的知識)】 ○○の解決に向けて学んだことは、△△な面で自分の生活と深く関わっていることを理解している。	【思判表②(情報の収集)】 ○○の解決に必要な情報を手段を選択して、収集している。	【主体態②(他者とのかかわり・協働性)】 グループで協力したり、お世話になった方からの教えを生かしたりしながら、○○の解決に向けて協働して取り組もうとしている。
【知技③(技能)】 ○○の解決に向けて調査をしたり体験をしたりして収集した情報について、図や文章等でまとめる方法が身に付いている。	【思判表③(整理・分析)】 収集した情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり、関連付けたりしながら○○の解決に向けて考えている。	【主体態③(社会とのかかわり・粘り強い態度)】 課題解決に向けた活動の状況を振り返り、諦めずに○○の解決に向けて取り組もうとしている。
	【思判表④(まとめ・表現)】 伝える相手や目的に応じて、調べた○○や自分が考えた◇◇をまとめ、適切な方法で表現している。	

はばたく群馬の指導プランⅡ 単元のつくり方

過程と基本的な学習活動

つかむ	1 探究課題と出会い、単元の課題を把握する。 ①探究課題と出会う。 ◇共通体験活動を行う。 ◇専門家の話を聞く。 など ②単元の課題を把握する。 ◇気付きや疑問を出し合う。 ◇理想と現実を比べる。 など ③追究の見通しをもつ。 ◇どのようなことに取り組んでいくか、解決に向けた予想や仮説を立てる。 など
追究する①②	2 単元の課題に基づき、個人・グループ等での課題を設定し、追究する。 ①課題の設定 ◇追究の見通しを基に、自らが取り組む課題（個別課題）を設定する。 ◇何をどのように追究するか、具体的な見通しをもつ。 ②情報の収集 ◇設定した課題の解決に向けて、見通しを基に必要な情報を収集する。 ③整理・分析 ◇収集した情報や考えを整理・分析する。 ④まとめ・表現 ◇設定した課題に対する取組をまとめたり、実践したりし、新たな課題につなげる。 3 新たな課題を見だし、継続して追究する。 ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現
まとめる	4 単元全体の学習を振り返る。 ◇単元全体を振り返り、自分の変化や成長を見つめ直す

<例> 評価の位置付け

知識・技能	思考・判断・表現	主体的…態度
	【思判表①】 単元の課題の設定	【主体態①】 自分自身・主体性 【主体態③】 社会とのかかわり・粘り強い態度
【知技①】 概念的知識 【知技②】 概念的知識 【知技③】 技能	【思判表①】 個別の課題の設定 【思判表②】 情報の収集 【思判表③】 整理・分析 【思判表④】 まとめ・表現 【思判表①】 新たな課題の設定	【主体態①】 自分自身・主体性 【主体態②】 他者とのかかわり・協働性 【主体態③】 社会とのかかわり・粘り強い態度
	【思判表④】 まとめ・表現	【主体態①】 自分自身・主体性

記録に残す評価（通知表、指導要録）については、従来どおり、実施した「学習活動」「評価の観点」「評価」の3つの欄で構成し、その児童生徒のよさや成長の様子など、顕著な事項を文章で記述する。